

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	収納率向上のための事業〔納税推進事業(滞納整理システム)・町税のコンビニ収納事業〕				開始年度	平成18・20年度	
基本目標	持続可能な財政基盤の構築				終了年度		
担当課(局)	税務課	担当係	収納係	記入者	杉 英樹	評価者	田中義基
21年度決算	3,954	千円	22年度予算	3,746	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	14,572 千円		22年度人件費	14,462 千円		事業従事者数	2.00 人 2.00 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	法定事務(税の賦課徴収)
事業の内容	事務の効率化と収納率向上を目的とし、経過や交渉記録、納付状況を管理し、滞納処分における各種帳票の作成・管理をおこなう。また、24時間営業のコンビニエンスストアを納税の窓口とすることで、住民サービスの向上と収納率向上を図る。全国の21系列のコンビニエンスストアで納付することが、可能となった。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 収納率(現年課税分)	収納率の向上
	2 収納率(滞納繰越分)	収納率の向上
	3 コンビニ納付件数	納税者の利便性の向上
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 納税相談件数	滞納者の現況を面談・調査により把握し、納付計画及び誓約書の作成を行い、円滑な納税に導く
	2 差押件数	滞納者の財産(給与、預貯金、不動産、国税還付金等)の差押を行う。
	3 広報活動	高鍋町ホームページ、町広報誌等への掲載。納付書再発行時等に随時説明(特に県外者)。

◎達成状況(現年:H22.5.31現在、過年:H22.3.31現在、コンビニ:年度毎、相談:4~3月、差押:4~3月、広報:4~3)

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	収納率(現年課税分)	目標値		97.50	97.00
		実績値	%	97.24	96.82
		達成率	%	#DIV/0!	99.3%
	収納率(滞納繰越分)	目標値	%	17.00	16.00
		実績値	%	16.33	15.56
		達成率	%	#DIV/0!	91.5%
コンビニ納付件数	目標値	件	13,500	16,500	
	実績値	件	13,461	16,183	
	達成率	%	#DIV/0!	119.9%	
活動指標	納税相談件数	目標値	件	3,000	3,900
		実績値	件	2,880	3,810
		達成率	%	#DIV/0!	127.0%
	差押件数	目標値	件	150	180
		実績値	件	238	168
		達成率	%	#DIV/0!	112.0%
広報活動	目標値			随時	
	実績値			随時	
	達成率	%	#DIV/0!	#VALUE!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	◎法定事務であり、町税の納付に関することであるので、町が実施するのが妥当である。 ◎滞納整理システムは、日向市・日南市・三股町・小林市が導入。コンビニ収納は、宮崎県・宮崎市・川南町・その他が実施している。 ◎滞納整理システム廃止による事務効率の大幅なダウンは避けられない。コンビニ収納は24時間どこでも納付することができるよう納税者の利便性の向上を図ったもので、廃止の影響は大きい。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	◎滞納者管理をする上で、前の経過や誰が対応したかなどひと目でわかり、非常に有効である。 ◎滞納者への対応、各種調書の作成が迅速化されている。 ◎コンビニ納付件数を比較すると一目瞭然であるが、2,722件の伸びであり、納税者のニーズが高いことがわかる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	◎各種調書の作成、条件による抽出など迅速にでき効率的である。 ◎さらに、使いこなすことで時間の削減は可能である。 ◎コンビニ収納の経費は収納代行業者への手数料であるので、削減不可能である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	◎法定事務のため、単独実施が妥当である。

事務事業名	収納率向上のための事業〔納税推進事業(滞納整理システム)・町税のコンビニ収納事業〕	担当課(局)	税務課
-------	---	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>業務上、収納率の向上という大きな命題がある訳で、その達成につながる、より充実した住民サービスの提供のための手法や事務処理を効率的に進めるためのツールなどを、検討し取り入れていくことは必要と考える。今後も、ここに挙げた滞納整理システムやコンビニ収納システムの事業をより充実させていくとともに、それ以外にも、この命題達成のための様々な事業を検討し導入していくべきと考える。</p>	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	現状維持	縮小	廃止
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎収納対策本部会議の積極的な活用で、滞納者情報の共有・支援など図って欲しい
	コスト	拡充	